



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

< オリンピック・ムーブメント事業 >

JOCオリンピック教室

実施報告書

宮城県 仙台市立愛宕中学校



公益財団法人 日本オリンピック委員会

「オリンピック教室」の実施にあたって

平成21年4月の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和4年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 目的： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、
オリンピック自身の様々な経験を通して
「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、
この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、
日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- 事業名： JOCオリンピック教室
- 主催： 公益財団法人 日本オリンピック委員会（JOC）
- 後援： スポーツ庁
- 協力： 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対象： 中学2年生
- 講師： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート） ※派遣オリンピックはJOCが選定
- 期間： 2022年4月～2023年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数： 80校程度
- 実施方法： クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、
チームワーク、フェアプレー、
身体を動かすことの楽しさ等を感じてもらいます。



2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、
自身が感じたオリンピックの価値を生徒に伝え、
オリンピックをより身近に感じてもらいます。



1コマ目

運動の時間 / 50分

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介
学習内容の確認



準備体操



主運動
(作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ

2コマ目

座学の時間 / 50分

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、
あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、
分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、
今後に活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した
自己紹介



オリンピック自身の経験に基づき「オリンピックの価値」等を伝える



個人またはグループワークで話し合った内容を発表



全体のまとめ
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって変動する場合があります

●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上での調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。

■ **オリンピック** : 櫻井 由香 先生 (バレーボール) 【出場オリンピック／北京2008大会】

■ **期 日** : 2023年1月13日(金)

■ **ク ラ ス** : 2年生合同／運動の時間

○自己紹介 ～ 授業の目的確認 ～ 準備体操



●バレーボール競技の日本代表として北京2008大会に出場したと自己紹介した後、オリンピックバリューには、エクセレンス：「一生懸命に取り組む」、フレンドシップ：「友情」、リスペクト：「お互いに尊重し合う」と説明し、この3つを意識しながら、取り組んでほしいと授業の目的を確認。運動の時間では、自分にはできないけど、こんなことができるんだ等、仲間の良い所を、お互いに沢山見つけてほしいと伝え、準備運動として、バレーボールを使用したストレッチ、オーバーパス、アンダーパス、手の平と甲でボールを弾ませる動作を実施。

○主運動 等



●主運動では、「パスを繋いでタイム競争」を実施(全3回)。班毎に分かれ、班内でパスを繋ぎながら、折り返し地点を周り、如何に早くゴールできるかタイムを競う。班内で1人1回は触ること、1人が連続でボールを触らないこと、ボールを落とした場所からスタートすること等、バレーボールのルールも取り入れながら実施。



●運動の時間を振り返り、作戦タイムでは、皆で意見を出し合い、考えた作戦を成功させるために、一丸となって一生懸命に取り組んでいる姿を見ることができた。最後の班がゴールした時に、皆が自然に拍手し、称え合っていたことはとても素晴らしかった。次の座学の時間では、運動を通してお互いに良い所を見つけてくれたり、仲間がこんなことをしてくれて嬉しかった等、感じたことを振り返りながら、オリンピックバリューに当てはめて、皆と一緒に考えていきたいと伝え、授業終了。

■ **オリンピック** : 櫻井 由香 先生 (バレーボール) 【出場オリンピック／北京2008大会】

■ **期 日** : 2023年1月13日(金)

■ **ク ラ ス** : 2年生合同／座学の時間

○自己紹介 ～ 授業の目的確認 ～ オリンピックの価値を伝える



●運動の時間に見つけた仲間の良い所が、3つのオリンピックバリューにどのように繋がっているのか、またオリンピックだけのものではなく、皆の日常生活にも繋がっているということを皆と一緒に考えていきたい、と授業の目的を確認。小学5年生よりバレーボール競技をはじめ、オリンピックに出場したいという夢を22年間持ち続け、毎日一生懸命努力し、諦めない気持ちがあったからこそ、夢を叶えることができた。夢や目標に向かって行く上で、上手く行かない時に、自分の口から前向きな言葉を出すことで成果に繋がる「言霊」を実践してみてほしいと伝える。

○個人ワーク ～ グループワーク 等



発問：自分が見つけた仲間の良い所を書き出してみよう。

発表：エクセレンス：「みんなが積極的にボールを取りに行ってくれた」「皆で全力で取り組んでいた」「作戦をまとめてくれた」等
フレンドシップ：「失敗しても責めずに声を掛け合った」「積極的にパスをまわしてくれた」「名前を呼び合いパスをしていた」等
リスペクト：「仲間がミスしてもフォローし合った」「相手チームに応援やアドバイスをしていた」「意見や提案を出して受け入れてくれた」等



●座学の時間を振り返り、今日の2時間を通して、お互いに仲間の良い所を発見できたと思う。これからもお互いに思いやりの気持ちを持って、クラスの仲間を大切にしてほしい。最後に、「自分が好きですか」と問い掛け、何事も自分が自分を好きでなければ、周りの人に対しても、思いやりの気持ちを持つことができない。まずは自分を好きになり、そして仲間を大切に、今日伝えたオリンピックバリューを意識しながら、充実した学校生活を過ごしてほしいと伝え、授業終了。

■ 集合写真



■ 記念品贈呈



■ 修了証贈呈

